

体験型実習〈土木構造物〉&〈河川堤防等〉&〈インフラDX〉を開催しました！

～ 次世代若手職員育成の取り組みと更なる連携 ～

東北技術事務所

東北道路
メンテナンスセンター

- 令和5年12月14日(木)、次世代を担う宮城県内事務所等所属の若手職員を対象に、『体験型実習《土木構造物・河川堤防等・インフラDX》』（次世代若手職員講習会 ※参照）を、東北技術事務所所構内で開催しました。
- 本講習会には8名の若手職員が参加し、土木実習では、コンクリート構造物の表層品質と耐久性、橋梁の上部工モデルによる構造形式や被災・劣化損傷状況を学習。また、堤防等実習では、堤防・樋管等の異常変状箇所を見て、施設の点検・評価ポイントを、更にDX実習では、3D-CAD操作体験と3D設計データの活用方法、使用メリットなど、基礎的な知識を学んでいただきました。
- 実践的な実習に取り組んだことで、**実務に活かせる土木・デジタル技術を幅広く学ぶことができ、大変、有意義な講習会となりました。**

見学会の開催概要

- 開催日時：令和5年12月14日(木) 10:30～16:00
- 講習内容：体験型 土木構造物実習、河川堤防等実習、インフラDX実習
- 参加者：8名（宮城県内4事務所）
- 主催事務所：東北技術事務所 東北道路メンテナンスセンター



講習会の様子

※宮城県内事務所等コラボによる人材育成の取り組み。
※次世代を担う若手職員をターゲットに、所管インフラ各分野の事業、管理施設、支援技術等々を教材とし、広域的・横断的な視点(俯瞰した視点)に立った学びと新たな気づき、機会を提供。

●体験型土木構造物実習

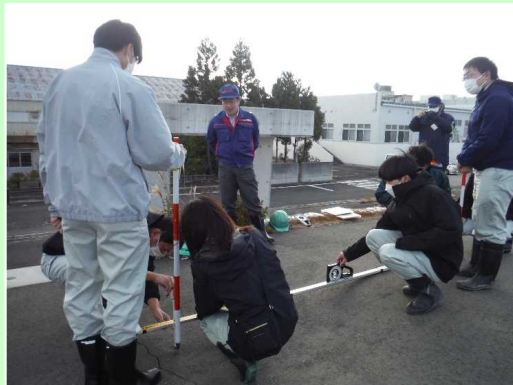


▲ 表層品質と耐久性 実習風景



▲ 鋼橋上部工(損傷モデル) 実習風景

●体験型河川堤防等実習



▲ 堤防の抜け上がり計測 実習風景



▲ 樋門周辺の陥没確認 実習風景



▲ 貫入棒による堤防の締め固め度の簡易判定 実習風景

●インフラDX体験実習



▲ 3次元CAD操作・活用演習 実習風景